

ESG重要課題と主なKPIの実績

現在の重要課題とKPIは2019年2月に策定されたものであり、新中長期経営計画にあわせて見直しを予定しております。

KPI:Key performance indicator(重要業績評価指標)

重要課題		KPI2022年4月期(2021年度)	2020年度目標	2020年度実績
消費者課題	健康価値の訴求(健康と栄養性)	<ul style="list-style-type: none"> 食品の健康価値に関する研究と発表(年間20件) 健康に貢献する食品・飲料の強化と健康的な食生活の提案 (特定保健用食品、機能性表示食品、栄養機能食品の拡充 計65品) 	<ul style="list-style-type: none"> 食品の健康価値に関する研究と発表15件 健康に貢献する食品・飲料の増加、健康的な食生活の提案 	<ul style="list-style-type: none"> 食品の健康価値に関する研究発表12件 特定保健用食品、機能性表示食品、栄養機能食品 計86品 (NB商品のみ)
	品質管理	<ul style="list-style-type: none"> 伊藤園グループ品質方針に基づく、サプライチェーン管理の徹底に向けて品質会議を実施 品質会議 8回開催、グループ品質会議 1回開催 (年間) 	<ul style="list-style-type: none"> (年間) ・品質会議 10回開催 (年間) ・グループ品質会議 1回開催 	<ul style="list-style-type: none"> 品質会議 7回開催 ※新型コロナウイルスの影響により一部中止 グループ品質会議 1回
コミュニティ・社会	健康経営の推進	<ul style="list-style-type: none"> グループ社員全体に対する健康問題の予防管理体制整備 『健康経営優良法人』認定の維持 定年延長をふまえて健康で活き活きと働けるよう生活習慣改善への取り組みを強化 	<ul style="list-style-type: none"> 『健康経営優良法人』の4年連続認定 MCI(軽度認知障害)スクリーニング検査の導入 ヘルスリテラシー向上及び地域社会への貢献を目的とし、各自治体主催の「認知症サポーター養成講座」に全国の社員が参加 	<ul style="list-style-type: none"> 『健康経営優良法人』の4年連続認定 「伊藤園グループいきいき健康宣言」の策定 ヘルスリテラシー向上及び地域社会への貢献を目的とし、各自治体主催の「認知症サポーター養成講座」に全国の社員が参加
	コミュニティと人権課題	<ul style="list-style-type: none"> 事業活動を通じた人権尊重の取り組みの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重の取り組みや体制の整備・強化 地域社会や外部団体との関係強化 	<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重の取り組みや体制の整備・強化 「伊藤園グループ人権方針」策定
	文化活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 「伊藤園お〜いお茶新俳句大賞」や伊藤園ティーテイスター制度を活かした日本文化、お茶文化の啓発強化 	<ul style="list-style-type: none"> 国際俳句協会との連携強化、「HAIKU」ユネスコ世界無形文化遺産登録への協力の継続 オンラインを活用した小中学校、外国人向けセミナー実施 	<ul style="list-style-type: none"> 「お〜いお茶新俳句大賞」応募数200万句達成 オンラインを活用した小中学校向けセミナー実施 15回
	持続可能な農業の推進	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な農業を推進し、地域活性化、原料のさらなる品質向上、安定調達につなげる 	<ul style="list-style-type: none"> 新産地事業における荒茶生産量目標：1,300トン以上 目標面積：500ha以上 	<ul style="list-style-type: none"> 新産地事業における荒茶生産量：1,315トン 面積：502ha
地球環境	気候変動への対応	<ul style="list-style-type: none"> 全社CO2排出量の中長期削減目標 (基準年2018年度) Scope1、2 2030年度 総量 26%削減 2050年度 総量 50%削減 Scope3 2030年度 原単位 26%削減 2050年度 原単位 50%削減 ※原単位：売上100万円当りのCO2排出量 CO2排出量 (Scope1~3) の第三者保証の取得維持 	<ul style="list-style-type: none"> 環境目標(CO2排出量)に対する進捗管理と政策の検討・推進 Scope1、2 総量 4.4%削減 (基準年2018年度) Scope3 原単位 4.4%削減 (基準年2018年度) 中長期方針と目標の策定・開示 CO2排出量 (Scope1~3) の第三者保証の取得 	<ul style="list-style-type: none"> 全社CO2排出量 (基準年2018年度) Scope1、2 総量 9.1%削減 Scope3 原単位 8.1%削減 中長期目標の策定・開示 CO2排出量 (Scope1~3) の第三者保証取得
	水の管理	<ul style="list-style-type: none"> ヒートポンプ式自動販売機導入 全体94%超 車両燃費2013年度比 1%向上 全社電力使用量の削減 (2019年度比 1.0%削減) 輸送時1車あたりの積載重量向上による省エネルギー推進およびCO2削減 (輸送時1車あたりの積載重量2017年度比 +8.2%) 	<ul style="list-style-type: none"> ヒートポンプ式自動販売機導入 93%超 車両燃費2013年度比 1%向上 全社電力使用量2018年度比 1.0%削減 輸送時1車あたりの積載重量2017年度比 +2.7% 	<ul style="list-style-type: none"> ヒートポンプ式自動販売機導入 93.7% 車両燃費 2013年度比 0.3%悪化 全社電力使用量2018年度比 3.6%削減 輸送時1車あたりの積載重量2017年度比 +4.9%
	容器包装	<ul style="list-style-type: none"> 2030年度 ペットボトルに使用するリサイクル素材等(生物由来素材を含む)の割合100% ペットボトルの軽量化の維持 500mlペットボトルの軽量化率 ▲16.5%の維持 2Lペットボトルの軽量化率 ▲31.8%の維持 	<ul style="list-style-type: none"> リサイクルペット使用の推進 (リサイクルペット使用率6.7%) ペットボトル軽量化 500mlペットボトルの軽量化率 ▲16.5%の維持 2Lペットボトルの軽量化率 ▲31.8%の維持 	<ul style="list-style-type: none"> リサイクルペット使用の推進 (リサイクルペット使用率7%) ペットボトル軽量化 500mlペットボトル軽量化率： ▲19.3% 2Lペットボトル軽量化率： ▲39.1%
	廃棄物とリサイクル	<ul style="list-style-type: none"> 緑茶包装工場の再資源化率 100%継続〔年間〕 食品リサイクル率 92.0%以上維持〔年間〕 	<ul style="list-style-type: none"> 緑茶包装工場の再資源化率 100%継続〔年間〕 食品リサイクル率 90%以上維持〔年間〕 	<ul style="list-style-type: none"> 緑茶包装工場の再資源化率 100% 食品リサイクル率 92.6%
	生物多様性の保全	<ul style="list-style-type: none"> 茶新産地事業における登録品種 (38品種) の維持 G.A.P認証の取得維持 (「GlobalGAP」「JGAP」「ASIAGAP」3つのいづれかの取得) 	<ul style="list-style-type: none"> 茶新産地事業における登録品種 (31品種) の維持 茶産地育成事業取引先における取得率100%達成 	<ul style="list-style-type: none"> 茶新産地事業における登録品種 (37品種) 維持 茶産地育成事業取引先における取得率100%
	コーポレート・ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> 内部統制における業務の有効性・効率性の向上により、国内外の事業リスクを低減する 伊藤園、グループ会社への内部統制、内部監査の実施 ステークホルダーの意見を反映させつつ透明責任を果たすサステナビリティ体制の推進 (ESG推進委員会の継続的な開催) (伊藤園統合レポートの継続的発刊及び内容の充実) (ESG課題を踏まえたステークホルダーダイアログの実施) 	<ul style="list-style-type: none"> 内部統制推進委員会の開催 (5回) 内部統制監査、内部監査の実施 内部統制報告書の提出 CSR/ESG推進委員会の継続的な開催 伊藤園統合レポートの継続的発刊及び内容の充実 ESG課題を踏まえたステークホルダーダイアログの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 内部統制推進委員会の開催 (5回) 内部統制監査、内部監査の実施 内部統制報告書の提出 CSR/ESG推進委員会の開催 (4回) 伊藤園統合レポート2020年の制作・発刊 ESG課題に対して、品質会議等を通じてサプライヤーとの対話を実施
リスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 社会情勢の変化に対応したリスク関連委員会の開催 全社横断的なBCP対策基準の策定、グループ会社を含めた各種取組の提案 災害対策備品に関する基準の策定 BCPマニュアル更新・改訂、災害時対応カード改定 災害対策委員会の開催 (年2回) 	<ul style="list-style-type: none"> 製品リスク対策委員会 年4回 開催 (定例会) BCPマニュアルの見直し更新 (水害・ウイルス対策等) 災害備品の内容精査・棚卸の実施 拠点防災訓練の実施 (200拠点) 災害対策委員会の実施 (年2回) 	<ul style="list-style-type: none"> 製品リスク委員会 5回 開催 (2020年度) 災害対策備品の内容精査 (発電機他) 防災教育に関する動画配信実施 (全社員を対象) 災害対策委員会 2回 開催 (2020年度) 	
コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> 海外を含めたグループ全体のリスク管理体制の構築と全従業員の意識向上 (あらゆる腐敗・不正行為の防止を目的とするP D C Aの仕組み作り) 伊藤園グループ行動規範、行動基準徹底継続 コンプライアンス委員会の開催 (6回) 車両安全教育の実施 (対象者別年4回) 関連会社との連携強化 交通違反者の把握、削減施策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 国内外グループ企業との連携体制 (事業報告・情報共有の継続) 伊藤園グループ行動規範、行動基準徹底継続 コンプライアンス委員会の開催 (6回) 車両安全教育の実施 (対象者別年3回) 交通違反者の把握、削減施策を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 国内外グループ企業との連携体制の構築 コンプライアンス強化推進月間の実施 コンプライアンス教育の推進 9回 開催 コンプライアンス委員会 6回 開催 車両安全教育の実施 (年4回) 運転記録証明の実地棚卸による交通違反者の把握、本人への通知、事故削減施策の実施 	

重要課題		KPI2022年4月期(2021年度)	2020年度目標	2020年度実績
公正な事業慣行	公正な取引の遵守	・公正な取引に対する意識向上のための研修を実施	・公正な取引遵守のための教育を継続	・コンプライアンス教育の一環として実施
	サプライチェーンマネジメント	・取引先会議の実施、結果のフィードバックを実施 (取引先：90%以上 ※取引金額ベース) ・調達方針に基づく取引先の供給者評価の内容充実化を図る ・生産関連企業への環境に関する供給者評価の100%実施継続 ・伊藤園グループ調達方針の適用範囲拡大	・一次サプライヤーに対し「自己評価票」アンケートの実施 ・「人権方針」と連動した「サプライヤー行動規範」の作成	・一次サプライヤーに対し「自己評価票」アンケートを実施・回収 ・「人権方針」と連動した、「サプライヤー基本原則」ならびに「サプライヤー取引行動規範」案の作成
人権	人権の尊重	・グローバルコンプライアンス体制の構築に向け、グループ行動指針(行動規範/行動基準)の改訂と意識向上を図る ・人権尊重の取り組みや体制の整備・強化(グローバル・コンパクトの加入可否判断を含む)	・人権尊重の取り組みや体制の整備・強化 ・人権デューデリジェンスの範囲の決定と実行計画の作成	・人権尊重の取り組みや体制の整備・強化 ・人権憲章の共有と今後の方向性の共有化
		・人権を尊重するための教育・研修の強化(職場のハラスメント、LGBTへの理解促進、ビジネス遂行上の人権問題等) ・人権に関する啓発活動の強化	・ハラスメントの予防に関する教育プログラムの継続実施 ・ハラスメント防止法改正を踏まえた啓発及び教育の実施	・コンプライアンス教育の一環として。年間を通じてハラスメント防止を啓発(職場内教育、動画配信、ポスター掲示、携帯カード配布等) ・ハラスメント防止法改正を踏まえた啓発及び教育の実施
労働慣行	人事・福利厚生	・職場環境改善推進地区委員会の継続 ・「伊藤園グループいきいき健康宣言」に基づいた取り組み強化と意識向上 ・働き方改革関連法への対応 ・長時間労働是正に向けた取り組み強化 ・有給休暇取得義務化への対応(年5日の計画有休取得)	・職場環境改善委員会の開催 ・働き方改革関連法への対応 長時間労働是正に向けた取り組み強化 有給休暇取得義務化への対応(年5日の計画有休取得)	・職場環境改善推進地区委員会を開催(28回)各職場の環境問題、課題を抽出 ・働き方改革関連法案への対応 時差出勤・在宅勤務の実施(コロナ対応) 有給休暇取得義務化への対応(年5日の計画取得)
		・多様な人材が要望に沿って自由に選択利用できる福利厚生制度の再構築 ・社員のライフステージ(出産・育児・介護・私傷病)を支援する「ファミリーサポート制度」の更なる拡充	・ファミリーサポート制度の拡充 療養者に対する支援体制の強化 在宅勤務やサテライト勤務など新たな働き方(テレワークなど)の導入 男性育児休業取得率の向上	・療養者に対する「短時間勤務」や「線上げ下げ勤務」の継続 ・コロナ対応として、在宅勤務やWEB会議などの強化、マスクなど衛生備品の配布、「生活・安全支援金」の全社員への支給を実施 ・男性の育児休業 24%
	健康・安全	・労働時間短縮・有給休暇取得促進に向けた取り組み強化 法定外労働時間の短縮 有給休暇(年間取得率60%)	・労働時間短縮に向けた取り組み強化(法定外労働時間の短縮) ・有給休暇取得促進に向けた取り組み強化 有給休暇(年間取得率60%) 長期休暇の取得促進(連続5日以上休暇取得率90%)	・労働時間短縮の計画的な取り組み強化 ・法定外労働時間の短縮(▲4.8% 2019年度対比) ・有給休暇取得促進に向けた取り組み強化 ・有給休暇の計画的付与を実施(年5日) (有給休暇年間取得率53.9%、取得日数9.9日) (5連続休暇(土・日、祝日含む)取得率84.7%)
		・グループ社員全体に対する、健康問題の予防管理体制の整備 ・健康経営優良法人上位500社へのチャレンジ	・『健康経営優良法人』の4年連続認定	・『健康経営優良法人』の4年連続認定 ・「伊藤園グループいきいき健康宣言」の策定
		・健康に対する正しい情報を提供する	・健康増進への取り組み強化(健保組合、産業医、保健師連携) ・受動喫煙防止、禁煙に向けた取り組み強化	・MCI(軽度認知障害)スクリーニング検査の導入 ・ヘルスリテラシー向上及び地域社会への貢献を目的とし、各自治体主催の「認知症サポーター養成講座」に全国の社員が参加 ・MCI(軽度認知障害)スクリーニング検査と連動し、自社商品を活用した健康増進プログラムの実施 ・喫煙者へのアンケートを実施し、分煙・禁煙に向けた意識改革を促進
		・労働災害件数の減少 ・度数率1.0%未満	・労働災害件数の減少 ・ISO45001(OHSAS18001)認証取得に向けた検討開始	・労働災害件数の減少 倉庫内でのリスク減少のため、安全靴・ヘルメット着用の強化
	人材育成	・世界で活躍できる人材育成	・伊藤園大学グローバル&カルチャーコースの開催	・伊藤園大学グローバル&カルチャーコース実施
		・海外に対応するお茶の専門家の育成	・茶に関する教育資料の英語版作成	・海外グループ企業 ティーテイスター試験実施 ・茶の本 英語版(作成中)
ダイバーシティ	・職位別教育内で、ダイバーシティに関する教育を実施 ・女性活躍推進法への対応 (2022年度目標) 女性管理職を2020年度比で150%以上に 女性指導職を2020年度比で130%以上に 男性の育児休業取得率を30%以上に	・女性活躍推進法への対応 女性社員の意識改革 女性社員を取り巻く環境の整備 ワークライフバランスの推進	・女性活躍推進法及び次世代育成支援対策法に基づく行動計画の策定 ・管理職に対する「ダイバーシティマネジメント教育」の実施 ・意識調査において実態分析の実施 ・ワークライフバランスの推進	
	・障がい者雇用における定着率の維持向上と支援体制の整備拡充	・障がい者就職支援機関・大学への訪問、紹介支援機関及び人事部による入社後フォローの実施	・定着率の向上を図るため、人事部門の専属指導員による定期面談や職場・地域の支援センターの連携強化(2020年度面談実績53回39名)	